



平成 20 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社オストジャパングループ
(コード番号 2757 : 札証アンビシャス)
本社所在地 札幌市厚別区厚別南五丁目 1 番 7 号
代 表 者 代表取締役社長 村 上 睦
問 合 せ 先 常務取締役 山 田 耕 資
電 話 番 号 011-896-5533 (代表)
(URL <http://www.ost-japan.com/>)

株式会社アミノアップ化学との共同研究契約締結に関するお知らせ

当社の連結子会社である北日本化学株式会社は、株式会社アミノアップ化学（札幌市、代表取締役 小砂憲一）と下記のとおり共同研究契約に合意し、本日開催の同社取締役会において、当該契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

社会的に対策が求められているメタボリックシンドロームに対して、動物試験で改善効果が認められる機能性物質を両社それぞれが有しておりますが、これを単独活用するだけでなく、本共同研究を通じて併用することで相乗効果を期待するものであります。

記

1. 共同研究の目的について

連結子会社北日本化学株式会社が製造販売する北海道産天然サケの卵巣外皮（オバリー）から抽出したペプチド（サーモンオバリーペプチド、以下「SOP」といいます。）には動物試験において特に運動時の脂肪蓄積抑制効果が認められております。また、株式会社アミノアップ化学がライチ果実を低分子化、抽出、精製したポリフェノールである **Oligonol®**（以下、「オリゴノール」といいます。）にも脂肪蓄積抑制効果が認められていることから、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に対して、SOPとオリゴノールを併用した場合の相乗効果について共同研究するものです。

本年より一定の対象者に、メタボリックシンドローム検診としての特定健康診査・特定保健指導が義務化されましたが、SOPもオリゴノールも共に長い食経験がある自然物由来の機能性物質であり、またトレーサビリティも確立している原料を使用していることから、安全安心とされるこの2つの物質の機能性がメタボリックシンドローム対策に資することが期待されます。

2. 共同研究の内容について

北日本化学株式会社と株式会社アミノアップ化学とは、本共同研究の実施内容について共同で討議し決定したうえで、北日本化学株式会社はSOPを検体として株式会社アミノアップ化学に提供、株式会社アミノアップ化学はマウスに対してこのSOPと自社のオリゴノールを投与することで、メタボリックシンドロームに対する併用効果についての研究を実施いたします。



3. 共同研究の期間

平成 20 年 10 月 10 日から平成 20 年 12 月 31 日まで

4. 業績に与える影響

本件が当期業績に与える影響は軽微であります。

5. 株式会社アミノアップ化学の概要 <http://www.aminoup.co.jp/>

- (1) 事業内容 アミノアップ（植物成育調整物質）、AHCC（免疫賦活物質）、シソエキス（抗アレルギー物質）、その他製造
- (2) 設立年月 昭和 59 年 6 月
- (3) 本社所在地 札幌市清田区真栄 363 番地 32
- (4) 代表者 代表取締役 小砂 憲一
- (5) 資本金 369,000 千円
- (6) 大株主 小砂憲一 35.2% 雪印種苗株式会社 32.8%
- (7) 当社との関係 人的・資金的関係は一切ありません。

以上

本リリースに関するお問合せ先

北日本化学株式会社 代表取締役 盛（もり） 孝男 TEL：0123-36-3700

株式会社アミノアップ化学 営業部宛 TEL：011-889-2555